

公立大学法人名古屋市立大学

第二期中期目標期間の業務実績に関する評価結果（様式案）

平成 3 0 年 9 月

名古屋市公立大学法人評価委員会

<目次>

中期目標期間評価の方法について
評価結果の記述について
1 全体評価
2 項目別評価	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する項目	
第1 教育に関する項目
第2 研究に関する項目
第3 社会貢献等に関する項目
第4 大学の国際化に関する項目
第5 附属病院に関する項目
II 業務運営の改善及び効率化に関する項目
III 財務内容の改善に関する項目
IV 自己点検・評価、情報の提供等に関する項目
V その他の業務運営に関する項目
3 各年度における評価結果の状況
4 参考資料

《中期目標期間評価の方法について》

公立大学法人名古屋市立大学の第二期中期目標期間（平成24～平成29年度）の業務実績に関する評価については、平成19年1月30日に策定した「公立大学法人名古屋市立大学の業務実績に関する評価指針」及び平成24年2月13日に策定した「公立大学法人名古屋市立大学の中期目標期間評価実施要領」（平成30年1月11日付一部改正）に基づき、以下のとおり評価を行った。

- ① 中期目標期間評価は、「全体評価」と「項目別評価」により行った。
- ② 「全体評価」は、次に掲げる「項目別評価」の結果を踏まえ、中期目標の達成状況について記述式により評価を行った。
- ③ 「項目別評価」は、中期計画の大項目ごとに大学法人の自己評価を踏まえ、未達成項目等がある場合は、その重要性、計画の実施状況等を勘案した上で総合的に評価し、S～Dの5段階で評価を行った。

なお、大項目の区分及び項目別評価の基準については、以下のとおりである。

(大項目の区分)

大 項 目 名	
質の向上に関する項目 大学の教育研究等の	I 第1 教育に関する項目
	第2 研究に関する項目
	第3 社会貢献等に関する項目
	第4 大学の国際化に関する項目
	第5 附属病院に関する項目
II 業務運営の改善及び効率化に関する項目	
III 財務内容の改善に関する項目	
IV 自己点検・評価、情報の提供等に関する項目	
V その他の業務運営に関する項目	

(項目別評価の基準)

評価	内 容	基 準
S	中期目標の達成状況が極めて良好である	<ul style="list-style-type: none">・特筆すべき成果を挙げている・中期計画の小項目及び数値目標をすべて達成している
A	中期目標の達成状況が良好である	<ul style="list-style-type: none">・中期計画の小項目及び数値目標をすべて達成している
B	中期目標の達成状況が概ね良好である	<ul style="list-style-type: none">・中期計画の小項目及び数値目標の達成状況が9割以上である
C	中期目標の達成状況がやや不十分である	<ul style="list-style-type: none">・中期計画の小項目及び数値目標の達成状況が9割未満である
D	中期目標の達成状況が不十分である	<ul style="list-style-type: none">・中期計画の小項目及び数値目標をほとんど達成できていない

《評価結果の記述について》

評価結果の記述は、基本的に以下の考え方に基ついて行った。

(1) 全体評価

【評価結果と判断理由】

重点項目に対する主な取り組みなど業務実績全体を通じての評価結果と判断理由を記述する。

【全体的な実施状況】

①重点項目に対する主な取り組み

中期目標前文に掲げた重点項目である「市民の健康と福祉の向上」、「次世代育成支援、地球環境の保全と社会環境の整備発展」、「地域貢献」、「教育力・研究力の強化と運営基盤整備」に対する大学法人の主な取り組みについて、客観的な達成状況等を記述する。

②目標に対して未達成の取り組みと今後の対応

項目別評価において未達成の状況にある主なものについて、客観的な達成状況及び今後の対応を記述する。

【全体評価にあたっての意見、指摘事項】

業務実績全体を通じての評価を行うにあたり、評価委員会から出された意見や指摘事項について記述する。「実施状況」と重複して記述する項目もあるが、本欄により、大学法人の業務実績において評価委員会として積極的に評価する点、改善すべき点等を明らかにする。

(2) 項目別評価

【評価結果】

項目別評価の基準に基づき S～D で評価を行う。

【業務実績報告書の自己評価と評価委員会の評価が異なる理由】

大学法人による業務実績報告書の自己評価と評価委員会の評価が異なる場合は、評価委員会が異なる評価をした理由を記述する。

【実施状況】

①特筆すべき取り組み

特筆すべきものについて、客観的な達成状況等を記述する。

②数値目標の状況

中期計画に掲げた数値目標の達成状況を示す。

③未達成又は取り組みが不十分な事項

遅れているものについて、客観的な達成状況及び遅れていると判断した理由を記述する。

【評価にあたっての意見、指摘事項】

項目別評価を行うにあたり、評価委員会から出された意見や指摘事項について記述する。「実施状況」と重複して記述する項目もあるが、本欄により、大学法人の業務実績において評価委員会として積極的に評価する点、改善すべき点等を明らかにする。

1 全体評価

【評価結果と判断理由】

【全体的な実施状況】

- ① 重点項目に対する主な取り組み

- ② 目標に対して未達成の取り組みと今後の対応

【全体評価にあたっての意見、指摘事項】

2 項目別評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する項目

第1 教育に関する項目

【評価結果】

評価 結果	自己 評価	年度評価結果				
	△	24	25	26	27	28
■		おおむね 計画どお り実施	おおむね 計画どお り実施	おおむね 計画どお り実施	計画どお り実施	計画どお り実施

【業務実績報告書の自己評価と評価委員会の評価が異なる理由】

【実施状況】

① 特筆すべき取り組み

.

② 数値目標の状況

・研究科毎の入学定員充足率（入学者数を定員で除したもの）の3年平均

目 標		【参考】 23	24	25	26	27	28	29
【大学院修士課程 及び博士前期課程】		平成22 ～24年 度入試	平成23 ～25年 度入試	平成24 ～26年 度入試	平成25 ～27年 度入試	平成26 ～28年 度入試	平成27 ～29年 度入試	平成28 ～30年 度入試
各年度 100%	医学研究科 修士課程	86.7%	70.0%	70.0%	63.3%	60.0%	76.7%	83.3%
	薬学研究科 修士前期課程	99.1%	99.1%	102.8%	117.6%	117.6%	115.6%	101.7%
	経済学研究科 博士前期課程	95.8%	85.8%	76.7%	70.8%	64.2%	65.0%	55.0%
	人間文化研究科 博士前期課程	88.0%	92.0%	102.7%	94.7%	84.0%	85.3%	104.2%

	芸術工学研究科 博士前期課程	108.0%	89.8%	87.8%	82.2%	75.5%	68.9%	68.9%
	看護学研究科 博士前期課程	90.3%	95.8%	97.2%	106.9%	101.4%	90.3%	79.2%
	システム自然科学研究科 博士前期課程	88.9%	80.0%	84.5%	91.1%	95.6%	75.6%	75.5%

目 標		【参考】 23	24	25	26	27	28	29
【大学院博士課程 及び博士後期課程】		平成22 ～24年 度入試	平成23 ～25年 度入試	平成24 ～26年 度入試	平成25 ～27年 度入試	平成26 ～28年 度入試	平成27 ～29年 度入試	平成28 ～30年 度入試
各年度 70%を 下回る 研究科 の解消	医学研究科 博士課程	80.8%	76.3%	81.4%	91.7%	102.6%	104.5%	96.2%
	薬学研究科 博士後期課程	94.7%	100.3%	81.9%	80.5%	66.6%	61.1%	47.2%
	薬学研究科 博士課程			155.5%	155.5%	155.5%	127.8%	93.3%
	経済学研究科 博士後期課程	36.7%	33.3%	66.7%	60.0%	60.0%	40.0%	33.3%
	人間文化研究科 博士後期課程	73.3%	73.3%	93.3%	73.3%	80.0%	60.0%	60.0%
	芸術工学研究科 博士後期課程	66.7%	73.3%	66.7%	40.0%	40.0%	46.7%	53.3%
	看護学研究科 博士後期課程	60.0%	46.7%	46.7%	60.0%	73.3%	53.3%	53.3%
	システム自然科学研究科 博士後期課程	86.7%	93.3%	113.3%	106.7%	66.7%	33.3%	33.3%

・ 卒業者(就職希望者)の就職率

目 標	【参考】 23	24	25	26	27	28	29
各年度 100%	96.6%	97.5%	99.1%	98.3%	99.5%	99.3%	

- ・授業についてのアンケート」での「総合評価」（1（評価しない）から5（評価する）の5段階で受講生全員に問うもの）の科目平均値

目 標		【参考】 23後期	24	25	26	27	28	29
各年度 全科目 3以上	3未満の科目数 /全科目数	12科目 /476科目	15科目 /438科目	14科目 /490科目	11科目 /494科目	1科目 /493科目	6科目 /495科目	

- ・医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師国家試験の新卒者合格率

目 標		【参考】 23	24	25	26	27	28	29
各年度 100%	医 師	96.47%	100%	97.47%	96.6%	97.2%	97.3%	93.8%
	薬剤師	96.15%	89.29%	81.5%	81.0%	92.9%	91.1%	88.8%
	看護師	98.7%	100%	100%	100%	98.7%	98.7%	100%
	保健師	98.7%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	助産師	88.9%	100%	100%	100%	100%	85.7%	100%

- ・社会福祉士国家試験の在学中合格者数

目 標		【参考】 23	24	25	26	27	28	29
各年度 5人		5人	2人	5人	5人	10人	8人	9人

- ・高等学校及び中学校教諭免許の取得件数

目 標		【参考】 23	24	25	26	27	28	29
各年度 計20件		計26件	計16件	計46件	計46件	計22件	計14件	計19件

- ・幼稚園教諭免許及び保育士資格の取得者数

目 標		【参考】 23	24	25	26	27	28	29
各年度 計30人		計16人	計12件	計27人	計18人	計25人	計27人	計25人

③ 未達成又は取り組みが不十分な事項

・

【評価にあたっての意見、指摘事項】

・

I 第3 社会貢献等に関する項目

【評価結果】

評価 結果	自己 評価	年度評価結果					
	■	24	25	26	27	28	29
		B	A	A	A	A	

【実施状況】

① 特筆すべき取り組み

.

② 数値目標の状況

・ 市民公開講座の受講者数

目 標	【参考】 23	24	25	26	27	28	29
29年度 750人	501人	507人	577人	603人	730人	774人	1,013人

③ 未達成又は取り組みが不十分な事項

.

【評価にあたっての意見、指摘事項】

.

3 各年度における項目別評価結果の状況

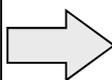
年 度	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
大項目名						
教育	おおむね計画どおり実施			計画どおり実施		
研究	おおむね計画どおり実施			計画どおり実施		
社会貢献等	B	A	A	A	A	
大学の国際化	A	A	A	A	A	
附属病院	A	B	B	A	A	
業務運営の改善及び効率化	A	A	A	A	A	
財務内容の改善	A	A	A	A	A	
自己点検・評価、情報の提供等	A	A	A	A	A	
その他の業務運営	B	B	A	A	B	

※ 教育・研究については、地方独立行政法人法第69条の規定により、その特性に留意し、小項目評価及び大項目評価は行わず、事業の進捗状況を客観的外形的に確認する。

評価の基準

小項目評価

IV : 年度計画を上回って実施している
III : 年度計画を順調に実施している
II : 年度計画を十分には実施していない
I : 年度計画を実施していない、 または大幅に下回っている



大項目評価 (評価した大項目数 : 7)

S : 特筆すべき進行状況 (特に認める場合)
A : 計画どおり (すべてIII~IV)
B : おおむね計画どおり (III~IVが9割以上)
C : やや遅れている (III~IVが9割未満)
D : 重大な改善事項あり (特に認める場合)

4 参考資料

【委員名簿】（50音順）

氏名	役職等
内田 淳正	三重大学 学長顧問
小笠原 剛	(株)三菱UFJ銀行 常任顧問
佐分 晴夫 ☆	名古屋経済大学 学長
南部 初世	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授
皆見 幸	公認会計士

☆ 委員長

【第二期中期目標期間の業務実績に関する評価結果に係る評価委員会開催結果 （平成30年度）】

- ・第1回 6月7日開催
- ・第2回 7月24日開催
- ・第3回 ○月○日開催
- ・第4回 ○月○日開催